



とおかまち スタイル

十日町市
市勢要覧

～ 人にやさしく～ TOKAMACHI *style*

十日町市 市勢要覧
とおかまち
スタイル

CONTENTS

3 ▶ **特集 Tokamachi Style**
「十日町市で暮らす。十日町市で目指す。」

[Tokamachi Style 1]

産業の振興【織物産業】

「十日町きもの」の素晴らしさを若い世代に伝えたい。

[Tokamachi Style 2]

怒涛の人の流れを創出【豪雪JAM】

地元若者に十日町市を好きになってほしい、誇りに思ってもらいたい。

[Tokamachi Style 3]

地域づくり【地域おこし協力隊】

みんなで汗を流したり、おしゃべりをしたり。そこから始まる「地域おこし」もあると思う。

[Tokamachi Style 4]

農業の振興【農業ビジネス】

十日町市の自然を活かして、新しい農業を追求しています。

11 ▶ **Healing City Tokamachi**
十日町市十景「癒しの里とおかまち」

13 ▶ **Art in Tokamachi**
大地の芸術祭「アートがふるさとにやってきた」

15 ▶ **市長メッセージ「ゆつくりの時間」**

16 ▶ **未来に伝えたい「十日町市」**

17 ▶ **ふるさと十日町市のまちづくり・人づくり**

活力ある元気なまちづくり

【観 光】「怒涛の人の流れ」を生観光都市を目指して！
【文化・スポーツ】「文化とスポーツで全国に世界に発信」
【産 業】「十日町市のポテンシャルを最大限活かして」

人にやさしいまちづくり

「人と人の絆の大切さを心に刻んで」

安全・安心なまちづくり

「みんなの笑顔を支えていくために」

まちづくり実現のために

「すべては市民のために」

29 ▶ **国際交流 in 十日町市**

◎姉妹都市提携／イタリア コモ市 ◎サッカー交流／クロアチア

30 ▶ **十日町市のプロフィール**



とおかまちスタイル

雄大な山々と大地を流るおす川の流れに抱かれながら、

歴史と文化と産業を育んできた十日町市。

ここには、十日町市を愛し、

十日町市の暮らしを楽しむ若者たちがいます。

その暮らしのカタチ、夢のカタチは、さまざまです。

農業の新しい可能性に挑戦する人、

地元の人と親しみながら交流の輪を広げる人、

十日町市から全国へ世界へと発信しようとする人、

伝統を守りながら新しいことにチャレンジする人。

子どもたちからお年寄りまでみんなが笑顔で暮らし、

それぞれの夢や希望をかなえることができるまち。

そんな「選ばれて住み継がれる十日町市」を目指して、

市民それぞれのまちづくりがはじまっています。

四季折々の自然と大地の恵みにあふれたこのまちで、

人にやさしい「とおかまちスタイル」を感じてみませんか？

人にやさしく

Tokamachi Style: Treating People Gently.

There are young people in the city of Tokamachi who love it and enjoy living here. There are different ways of living in Tokamachi and a variety of dreams. There are those who are exploring new potential in agriculture, those who are broadening opportunities for networking while befriending local people, those who are attempting to tell the whole nation and the whole world about Tokamachi and those who are pioneering new things while guarding the traditions of the area. This is a city where all citizens "from children to seniors" live with smiles on their faces and can have their various dreams and wishes fulfilled. Development of a city for all is commencing with the aim of making Tokamachi a place that will be chosen for successful living. Why not experience the gentle nature of "Tokamachi Style" for yourself?

十日町生活方式 ~以人为本~

十日町市有很多热爱十日町市、享受十日町市生活的年轻人。这里的生活方式、梦想的内容是多种多样的。有挑战农业全新可能性的人，有扩展与本地人交流圈的人，有从十日町市向日本全国向全世界传递信息的人，有既坚守传统又挑战新事物的人。在这座城市里，无论孩子还是老人都快乐地生活着，都能够在这里实现自己的梦想和希望。

为了建设成“吸引人们定居的十日町市”，每位市民都开始投身到城市建设当中。您何不前来感受一下以人为本的“十日町生活方式”呢？



◎「十日町きもの」の伝統を守り進化を支える若い力

「きもの」の素晴らしさを

若い人が気軽に着られる、着たくなるきものをデザインしたい。

今は伝統工芸士をはじめとする先輩方から、織物製造の基礎を学んでいる段階です。十日町明石ちぢみは、糸から製品になるまでには、約30工程、半年くらいかかります。一つ一つの工程に意味があり、難しさがあって、独特のシャリ感やきれいな柄につながるんですけど、まだまだはじめたばかりですが、ますます着物が好きになりました。きもを作ってみたいという単純な憧れから入ったの世界ですが、それぞれの工程を体におぼえさせていきながら、同時にデザインや企画の勉強をして、伝統を踏まえながら

若い世代に伝えたい。

も時代の新しいものを取り入れ、将来は若い人が気軽に着られるきものをデザインしてみたいと思っています。(石田さん)

母から受け継いだ「きもの」という文化を大切にしていきたい。

母親が十日町に生まれ育った人で、また和裁師でもあったので、家になくさんのきものがありました。子どもの頃から展示会に連れて行ってくれたり、機会あるごとにき

ものを着させてくれたり。踊りやお茶を習っていたこともあって、ものごころついた時から「きもの」に抵抗がありませんでした。和ごころプロジェクトには3年ほど所属して、いまは。若い人たちにきものを着てもらい、きものよさを知ってもらおうと、若い人向けのお茶会や着付け教室などを開催しました。

近々ボランティア留学でアメリカに行くのですが、十日町のきものを通じて、日本の文化を伝えられたらと思っています。(柳さん)

◎Youthful energy is protecting tradition and supporting the evolution of "Tokamachi kimono".

Aiming to convey the wonders of "kimono" to a younger generation.

Ms. Mizuki Ishida works at Yoshizawa Orimono, Ltd. and is currently learning the basics of textile manufacture from senior figures at the company. "I want to build up my knowledge of traditional crafts and at the same time study design and planning, before going on to work as a designer and trying to design kimono that young people will be happy to wear," Ms. Ishida explains.

Ms. Chihoko Yanagi learned about traditional dances and tea from a young age and has always had an affection for kimono. She was formerly a member of the "Japanese Heart Project" kimono circle, which held tea parties, kimono-wearing classes and so on for young people, "encouraging young people to wear and appreciate kimono."

◎保持「十日町和服」の伝統、年轻活力支持着不断进化。

希望告诉年轻一代「和服」的魅力。

任职于吉泽织物株式会社的石田弥月(Mizuki Ishida)。现在正从公司的前辈那里学习纺织制造的基础知识。她怀有一个憧憬。那就是“在掌握传统技术的同向学习设计和企划内容。将来成为设计师，为年轻人设计能轻松愉快穿着的和服”。

柳千穂子(Chihoko Yanagi)从孩提时代就学习舞蹈和茶道。所以平时就非常喜欢“和服”。以前从属于和服活动“和心项目”。为了“让年轻人穿上和服。知道和服的好处”。该组织经常面向年轻人举办茶会和穿着教室等活动。

十日町明石ちぢみ

19世紀のはじめ、伝統的な越後縮(麻織物)の技法を絹に応用して創織された透綾織(すきやおり)を源流としています。緯糸(よこいと)に強染(きょうねん)を加え、湯もみをして独特の「しほ」をつくり



出します。清涼感あふれる薄くてシャリツとした地風と濡れても縮みにくいことが最大の特徴で、夏織物の定番として今も全国で愛され続けています。

きもの産業の振興

生活様式の変化などに対応するため、十日町織物工業協同組合をはじめ織物業界や関係団体と連携しながら、消費者がきものや和装を身近に感じられるような環境づくりを進めるとともに、新しいビジネス展開を支援しています。また、各種きもの普及事業やきものフェスタ、きものサミットin十日町などの開催を支援するなど、十日町のきものを全国にアピールしています。



1.きもの作る人と着る人、きもの好きさという共通点があるせいか、はじめて会ったのにも関わらず、すぐに打ち解けていました。2.「目色揃込み」緯糸を巻いた木べでであらかじめ印の付いた箇所を慎重に染めていきます。3.極細の糸にするため、明石ちぢみでは1メートルあたり約4,000回転もの捻りをかけています。4.日本の文化を知ってもらうため、海外に行く際にもきものを手放さない柳さん。

きもの愛好者・柳千穂子(ちほこ)さん(写真左) | 吉澤織物・石田弥月(みづき)さん(写真右) profile
元「和ごころプロジェクト」所属。十日町市住吉町在住。子どもの頃から踊りやお茶を習っていて普段から「きもの」と親しんできました。撮影の時も白地に手描き模様の図柄が鮮やかなきもの姿で登場。特別なことがない日でもきものに袖を通すことがあるそうです。
吉澤織物株式会社勤務。上越市出身。母親がきものが好きで、一緒に行ったきもの展示会できもの素晴らしさ、美しさに魅せられたとのこと。高校卒業と同時に、単身十日町に。まだ2年目で、きものづくりの工程を一つ一つ体覚えていく修行の段階とのこと。



「豪雪JAM」は生まれたいんです。
 誇りに思っほしい。
 その思いから、
 地元の若者に、
 十日町市を好きになっほしい。

豪雪JAM実行委員会のみなさん
 (左から) 樋熊篤史さん・橋本雅弘さん・田中博史さん・
 (右後ろ) 真霜和彦さん

雪国十日町だからこそ誕生した
 野外雪上フェスティバル。

十日町に生まれ育った親友がつぶやいた「十日町って田舎だし、いまいまだね」という一言がきっかけでした。自分の生まれ育ったまちに魅力を感じないなら何だか悔しくて悲しくて。2007年の年の暮れ頃でした。十日町雪まつりの会場で翌日空いているよなあ、野外フェスとかききたら面白いなあ、ふと思いついたんです。観光協会に行くと話をしたら「OK」ということだったんで、あわてて仲間を集めて、各方面の先輩方に相談を持ちかけて…。後は勢いと若い情熱で2ヶ月という短期間で開催にこぎつけました。20人くらいのスタッフ

“Gosetsu JAM” was created from a desire for young local people to like Tokamachi and take pride in their city.

Mr. Atsushi Higuma, a representative of the executive committee for midwinter outdoor music festival “Gosetsu JAM,” started the festival together with his friends as they set about adding to the charm of Tokamachi while developing seven stores in Tokyo and Tokamachi including orthopedic clinics and a cafes.

“Gosetsu JAM” was created on February 17, 2008. With a preparatory period of just two months, the project began while it was still under development by this group of young local staff with little to no experience of holding events. Nevertheless, difficulties were overcome and the first event was a success. The fifth festival will be held in 2012.

希望当地的年轻人能够喜欢十日町市，能够以十日町市为家。由此诞生了“豪雪JAM”。

樋熊篤史 (Atsushi Higuma) 作为严寒户外音乐节“豪雪JAM”的执行委员会代表，他在东京和十日町经营着7间整形外科诊所和咖啡店，在工作之余希望将十日町市建设成为更具魅力的城镇，就与朋友一起发起了“豪雪JAM”。

2008年2月17日，“豪雪JAM”诞生了。准备时间仅用了2个月，工作人员几乎都是没有活动经验的当地年轻人，完全在摸索中开始活动。付出的辛苦终于结出了硕果，第一次活动获得了成功，2012年将迎来第5次活动。

はみんな地元の仲間たち。当日は大雪で朝から雪かきやら出演者の移動の心配やらで大わらわらでした。でも、出演者や観客のみなさんに「よかったよ」「真冬の野外フェスもいいね」「スタッフや会場の雰囲気よかった」と言ってもらえて、本当に始めてよかったと思えました。おしゃれでカッコよくて、全国に誇れるイベントを目指して。

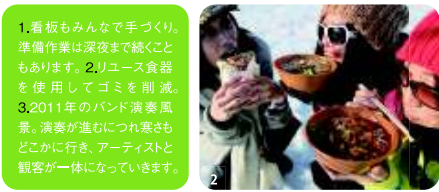
2012年は、はや5回目。豪雪JAMのファンになってもらい、十日町を好きになってもらうために、いろんな面で進化していけたらいいなと思ひ、みんなで知恵を出し合っで毎年試行錯誤を重ねて、いま。4回目からは高校生ボランティア

豪雪JAM

2008年2月17日、この年59回目を迎えた十日町雪まつりの城ヶ丘ピュアランド特設会場を使った、真冬の野外音楽フェスティバル「豪雪JAM」が誕生しました。準備期間わずか2ヶ月、スタッフはほとんど未経験の地元の若者たちという、まさに手探り状態のままスタート。苦勞の甲斐あり、初回を無事成功し、2012年は第5回目を迎えます。ふるさとへの熱い思いが実り、「元祖野外雪上フェス」「一年で最初のフェス」として、回を重ねるごとに地元でも全国でも知名度が上がってきています。

イベントの充実

十日町雪まつり、大地の芸術祭、松之山温泉のおこ投げ・すみ塗り、川西白倉の奇祭・バイトウ、越後まつだいの陣、雪原カーニバルなかさなど、地域資源を活かしたイベントや祭りは、地域活性化にも十日町市をPRする上にも重要な役割を担っています。今後も各地域のイベントや祭りの充実と連携を図るとともに、新たな取り組みへの支援や広報活動の充実に取り組んでいきます。



1. 看板もみんなて手づくり。準備作業は深夜まで続くこともあります。2. リユース食器を使用してゴミを削減。
3. 2011年のバンド演奏風景。演奏が進むにつれ寒さもどこかに行き、アーティストと観客が一体になっていきます。

豪雪JAM実行委員会代表・樋熊篤史(あつし)さん profile

十日町市本町在住。東京と十日町市に接骨院やカフェを7店舗展開させるかたから、十日町市をもっと魅力的なまちにしようと仲間を集めて日夜奔走中。「豪雪JAMは回を重ねるごとに地元にも全国にも深く広く根がはっていている感じがします」とうれしそうに語ってくれました。

◎地域を変える新しい力を求めて

みんなで汗を流したり、おしゃべりしたり、そこから始まる「地域おこし」もあると思う。



profile

田舎暮らし、農業、雪国での生活。何もかもはじめての体験でした。

生まれは、神奈川県横浜市で農業にはまったく縁のない家で育ちました。仕事を探しているときに、松代に知り合いがいて、「地域おこし協力隊」というのを募集しているのよと教えてくれたんです。地域おこしという仕事に興味があったので応募してみたというのが、ここに来ることになったきっかけです。田舎暮らしも農業も雪国もはじめて、もう何から何まで地域の皆さんや市の職員の方々と同じ隊員の先輩方に教わってやってみるしかないんです。だからこそ、あつという間に地域に溶け込むことができたんじゃないかな。

月に1回は集まるろうと、みんなで楽しめるイベントを企画。

松代地区の西端にある旧奴奈川村の6集落を担当しています。過疎地ですから、若者が土地を離れ、高齢化が進み、老人会などもなくなり、寄り合いが減ってきていたんです。棚田や農業を守るといっただけでなく、とにかく月に1回はみんなで集まろうと、鍋会やお好み焼き会、集会場の清掃や花壇の手入れなど、月例会も親睦を深めることで集落で結束できるようにいろいろ趣向を凝らしています。慣れない農作業や田舎暮らしですが、みなさんが親切に教えてくださったり、手伝ってくださったり、

◎Looking for new strength to revitalize the region. Areas can be “revitalized” beginning with hard work and talking.

Mr. Hiroki Miyahara is from Yokohama City in Kanagawa Prefecture. In November 2009, he moved to Matsudai District to start work in a cooperative group for regional revitalization. Mr. Miyahara is engaged in stimulating the region by helping with farmwork and participating in various events, while renting vacant houses and fallow land on which to carry out agricultural business. As well as being in charge of one of the villages in Hoshitonge, which is famous for its terraced rice fields, he has also been entrusted with the administration of the local meeting, experience and exchange facility “Kyasshii Hall.”

Mr. Miyahara explains: “It’s really urgent that a system is established so that people can resolve the various challenges faced by underpopulated areas with assistance from administrative powers.”

◎寻求改变地区的新生力量。大家一起流汗，互动交流。在此基础上开展“活跃地区”的活动。

宫原大树(Hiroki Miyahara)来自神奈川県横浜市。从2009年11月开始，作为活跃地区合作队的成员到松代地区赴任。租借空置的房屋和休耕的农地经营农业，主要协助农作业，并通过参加各种活动激发地区的活力。以梯田闻名的星峠村落也是他负责的村落之一，他还肩负着对这里的集会场兼体验交流设施“Kyasshii会馆”的运营重任。

宫原说：“针对解决偏僻地区的各种课题，急需建立能够借助行政的力量由大家共同解决的体制”。

地域おこし協力隊

昨今の少子高齢化の影響により、山間集落では過疎化が進行し、集落機能維持が困難な状況を引き起こし、十日町市の持つ良さを守り続けていくための仕組みが揺らぎ始めています。地域おこし協力隊は、人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、地域外の意欲ある人材を積極的に招へいし、その定住・定着を図ることで、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とする取り組みです。

- 主な仕事・業務
- 農林業の応援・従事活動(全般)
- 集落共同作業活動(道路、水路修繕作業など)
- 住民の生活支援活動(高齢者世帯の生活支援、除雪作業など)
- 地域行事、地域イベントの運営・企画支援活動
- 地域の活性化に必要な活動



- 1.十日町に住むことになったと告げた時びっくりしていた奥さんも、今ではすっかり山での暮らしになんでいます。
- 2.生み立ての卵は格別。飼っている鶏は50羽。今では集落の人たちに卵をお裾分けするほどです。
- 3.もちろん農機具の運転もはじめて。でもおじいちゃんたちが親切に教えてくれます。



地域おこし協力隊(松代地区)・宮原大树(のみ)さん

神奈川県横浜市出身。2009年11月から、地域おこし協力隊として松代地区に赴任。空き屋や休耕地を借りて農業を営みつつ、主に農作業の手伝いやさまざまな行事への参加を通じて地域の活性化に取り組んでいます。棚田で有名な星峠集落も担当。ここにある集会場兼体験交流施設「きゃっしい会馆」の運営も任されています。

◎新しい時代の農業を見つめる若い力

十日町市の恵まれた 自然を活かして、 新しい農業のあり方を 追求しています。

新しい農業のあり方を
求めて、花水農産は
生まれました。

「米づくりを生業にしていた私の父は昔からチャレンジ精神が旺盛で、ライスマシナーなどの施設や機械の共同利用をはじめとする共同経営によるスケールメリットを模索している中で、新しい農業のあり方を求めて自分と会社を立ち上げるようになったんです。

いまでは、信濃川沿いを中心に、請負を含めて毎年50〜60町歩の田んぼでコシヒカリを作るようになりました。また、減反対策や農閑期利用ではじめた大豆や、花や野菜の園芸作物も加工工場を作り販路を開拓することで、生産・加工・販売の複合的な仕組み

みが出てきて、経営も安定してきました。家族と親戚7、8人で始めたの会社も、いまでは35人と大所帯になってきました。

これからも味と品質にこだわって、新しい農業にチャレンジします。

花水農産では、十日町の恵まれた自然環境の中で、「土にこだわり、本物を作る、安全な食を守り続ける」をモットーに、生産から加工販売まで自社で行っています。本業のコシヒカリや園芸作物の生産では、有機質肥料を使い化学肥料を減らし、味と品質にこだわっています。また、大豆を使った豆腐製品や米粉やおからを使ったお菓子、越後姫の

ジャムなどの加工販売も軌道に乗り、地元のみなさんを中心に好評を得ています。

会社の基礎固めは父親がやってくれました。これからは私たちが若い世代が頑張らなくてはと思っています。今後は若手を育てて、米づくりを中心に質の高い生産物を安定供給できるようにみんなでレベルアップを図っていききたいですね。



有限会社花水農産 生産部主任 宮内隆和(たかのり)さん

十日町市中卒在。高校卒業後、巻にある農業大学校で農業を学び、農家を継ぐと決意。父親の経営する有限会社花水農産に入社し、さらに家業を広げ、平成17年には新潟県農林水産業総合振興事業の指定を受け、コシヒカリのほかに、いちご(越後姫)、大豆、ユリ、トマト、ナス、かぼちゃなどを生産。また、みやうちの豆腐(自社工場)や直売所「農家の店 あぜみち」での加工販売など、有機栽培・地産地消にこだわった農業ビジネスを展開しています。

◎Young blood focusing on new generation of agriculture.

Seeking the correct course for new agriculture by capitalizing on Tokamachi's rich nature.

Mr. Takayori Miyachi is in charge of the production department at Hanamizu Nosan, Ltd. After graduating from high school, he studied agriculture at an agricultural college and was determined to become successful as a farmer. Mr. Miyachi then joined Hanamizu Nosan, Ltd., which is run by his father.

Since being designated in 2005 as a Project for Promotion of Farming, Fishing and Forestry in Niigata Prefecture, the company has produced Koshihikari rice, strawberries (Echigo-hime), soybeans, lilies, tomatoes, eggplants, pumpkins, and so on. There is also being developed a diversified agricultural business based on organic farming and local production for local consumption, with manufacturing and sales at "Miyachi no ToFu" (the company's own factory) and the "Azemichi Farm Shop" direct sales point.

◎注目新时代农业的年轻力量。

运用十日町市丰富的大自然，追求新农业应有的方法。

宮内隆和(Takayori Miyachi)是有限公司花水农产的生产部主任。高中毕业后，在位于卷的农业大学学习农业。并下决心接班开展农业事业。因此进入了父亲经营的有限公司花水农产。

2005年有限公司花水农产被指定为新潟县农林水产业综合振兴事业，除了生产越光(Koshihikari)大米之外，还生产草莓(越后姬)、大豆、百合、番茄、茄子、南瓜等。此外，还在“宫内豆腐”(公司自有工厂)和直销所“农家之店 畦道(Azemichi)”进行加工销售等。从多个领域开展以有机栽培、自产自销为目标的农业商务。

新潟県農林水産業 総合振興事業

地域資源の商品化やその販売促進など中山間地域の特性を活かした特色のある農林水産業の振興を県・市町村が一体となって総合的に支援するものです。機械・設備などのハード面から、技術習得のための研修や技術指導などのソフト面まで、地域に根ざした新しい農業を目指す農業経営者をサポートします。





松守神社【Matsuo Jinja】 8



7 棚田【Tanada】



婿投げ(奇祭)【Mukonage】 9



美人林【Bijinbayashi】 10



6 清津峡【Kiyotsukyō】



2 二千年蓮【Nisennen Hasu】



Healing City TOKAMACHI

十日町市十景
「癒しの里とおかまち」

広大な大地、清らかな川の流れ、
そして緑豊かな山々。
四季折々の自然を満喫できる十日町市。
十日町市の美しい風景や人気スポット、伝統行事が、
訪れる人々の心を癒します。



小松原温泉【Komatsubara Shitsugen】 5



信濃川【Shinogawa】 4



3 大白倉のバイトウ(奇祭)【Oshirakura no Baitou】

- 1 **当間高原リゾートベルナティオ**
イタリア語で「美しいふるさと」を意味するベルナティオ。四季を通じて当間高原の大自然を満喫できる滞在型のリゾート施設です。
- 2 **二千年蓮**
運研究の世界的な権威、大賀一郎博士が、千歳峠で見川で発見された蓮の葉の厚み約200年前のものと同定を突き止めることに成功。その苗を五泉寺に植えたものです。
- 3 **大白倉のバイトウ(奇祭)**
ケヤキとわらで作った人形(バイトウ)の中で、集落の人たちが集い酒盛りします。最後に人形に火をつけ、その炎の姿で作物を占い、五穀豊穡を祈ります。
- 4 **信濃川**
長い時間をかけて信濃川によって拓かれた肥沃な大地が人を呼び、実りをもたらした結果、十日町市は中魚沼の中心地に発展しました。
- 5 **小松原温泉**
苗場山の北側斜面に位置し、標高1,350〜1,600mの緩やかな斜面に「池穂」と呼ばれる無数の小さな池が点在。夏にはナスゲなどの高山植物が咲き競います。
- 6 **清津峡**
日本三峡谷の一つ、国の名勝・天然記念物にも指定されています。六角柱の岩の割れ目が特徴。柱状節理の奇観と清津川の急流が作る遊形は圧巻です。
- 7 **棚田**
松代・松之山・川西に点在する棚田群。周囲の自然環境と巧みに折り合いをつけて築かれたもので、棚田のある風景は日本の原風景のひとつです。
- 8 **松守神社**
大同2年(807年)、坂上田村麻呂が創建したと伝えられ、祭神は坂奈川姫命。本殿は明治6年(1873年)建立の県内最古の木造堂宇で、国の重要文化財に指定されています。
- 9 **婿投げ(奇祭)**
前年結婚した初婚者、温泉街奥にある薬師堂から高さ5m程の雪の斜面に投げるといふ行事。結婚の祝福と夫婦の絆が固く結ばれることを願う行事です。
- 10 **美人林**
松之山松口の丘陵に樹齢80年ほどのブナの木が一面に生い茂っています。ブナのウラリとした立ち姿が美しいことから美人林と呼ばれるようになりました。

◎Art in Tokamachi — Art festival on the land.

The home of an art festival that can be walked around, experienced, and felt with one's whole being.

The Echigo-Tsumari Art Triennale is the world's largest international art festival and is held in the Echigo-Tsumari region (Tokamachi and Tsuman-Town). Taking the concept of "humans being part of nature," this event takes place on a vast site covering approximately 760 square kilometers and aims to reclaim various inherent regional values through the medium of art, enhancing the appeal of the region and telling the world about it while building a path for regeneration of the area.

◎Art in Tokamachi — 大地の艺术节
漫步、体验、全身心感受，
大地艺术节的故乡。

大地の艺术节 / 越后妻有艺术节 (Echigo-Tsumari Art Triennale) 是在越后妻有地区 (十日町市・津南町) 举办的世界最大规模的国际艺术节。理念是“人类被大自然所怀抱”，将约760平方公里的广阔土地作为舞台，以艺术为媒介发掘地区内在的各种各样的价值，提升其魅力，向全世界宣传，从而构筑出一条地区再生之路。



田島征三「鉢&田島征三・絵本と木の美術館」 photo by Takenori Miyamoto + Hiromi Seno



クロード・レヴェック「静寂あるいは暗騒の中で」
photo by Takenori Miyamoto + Hiromi Seno



大地の芸術祭

Art in TOKAMACHI



草間彌生「花咲ける妻有」 photo by Tsutomu Yamada



行武治美「再構築」 photo by H.Kuratani



ドミニク・ペロー「バタフライパビリオン」
Photo by Arnold GROESCHEL



ジェームズ・タレル「光の館」 photo by Tsutomu Yamada



MVRDV「まつたい震舞台」 photo by Tsutomu Yamada

「アートがふるさとにやってきた」

歩き、体験し、全身で感じる、
大地の芸術祭の里。

大地の芸術祭越後妻有アートトリエンナーレ (Echigo-Tsumari Art Triennale) は、越後妻有地域十日町市・津南町で開催される世界最大規模の国際芸術祭。人間は自然に内包されるを理念に、約760平方キロメートルの広大な土地を舞台に、地域に内在するさまざまな価値をアートを媒介として掘り起こし、その魅力を高め、世界に発信し、地域再生の道筋を築いていくことを目指しています。2000年のスタート以来、2003年、2006年、2009年の4回が開催され好評を博し、現在2012年の第5回展に向けた準備が進められています。また、大地の芸術祭開催後に地域の資源として残った作品も数多く、トリエンナーレ開催期間以外にも四季折々の里山の自然とアートが楽しめる「大地の芸術祭の里」として来訪者をお迎えしています。



「ツールド妻有2009」
photo by Takenori Miyamoto + Hiromi Seno

山の恵みを活かした、 新しい郷土料理を。

地元の皆さんが運営するレストランにこの穴蔵としてお手伝いに来たのがきっかけでエフになりました。以来、地元のお母さんたちに教わりながら大地が育む米、新鮮な野菜や山菜を楽しんで頂ける料理をご提供しています。これからも、越後妻有の自然の恵みと里山に暮らす人々が生み出す豊かな食文化を継承しながら十日町市の郷土料理をもとにアレンジした里山の新しい味を日々生み出していきたいと思っています。



「カフェ・ルフレ」ジャン・リュック・ウィルムード作。越後まつたい里山食堂は、作品でもあります。

越後まつたい里山食堂・シエラ

長谷川 蘭 まりさん
岩手県盛岡市出身。大学卒業後、食に興味を持つ調理師学校へ。2002年大地の芸術祭「サポーター」へご縁としてレストラン「立ち」に参加



🗣️ ぼくのわたしの
未来に伝えたい「十日町市」

50年後、100年後、未来に伝え残していきたい
十日町市の大切な宝物を紹介します。



市長メッセージ
ゆっくりの時間

十日町市は日本の原風景といわれる棚田やブナ林などが市内縁辺にあり、せわしなく人が行き交う都会の雑踏の中とはまったく異なる、ゆっくりとした時間の流れがここにあります。ブナ林に足を踏み入れ、棚田を遠くながめると、そこに現代人が忘れてきている安らかな時を感じることができるよう。また、平成12年から3年ごとに開催されている「大地の芸術祭」は、私たちの美しい自然や里山の暮らしと現代アートが見事に調和し、互いに魅力を引き出すことで日本中はもとより世界から注目を集めています。自然と調和した里山を舞台とする現代美術の祭典「大地の芸術祭」作品巡りも、ここでできない時間の過ごし方の一つです。

一方、十日町市は、魚沼産コシヒカリをはじめ、そばや地酒などの銘品が数多くあり、おいしさあふれるまちとしても知られています。毎年、人の背丈以上に降り積もる雪が、ミネラル豊かな水を生み出し、その雪解け水が日本一のコメ、魚沼産コシヒカリを生み出します。また、おいしい農産物の生産の陰には、元気なお年寄りや若い人の力も欠かせません。十日町市では選ばれて住み継がれるまちを目指し、子ども医療費助成を県内20市で初めて中学校卒業まで拡大するなど、子育て世代をはじめとした、お年寄りや障がいのある人に優しい街づくりを推進しています。魅力あふれる十日町市にぜひお越しください。



十日町市長

関口 芳史



「怒涛の人の流れ」を生む 観光都市を目指して

大地の芸術祭や雪まつりをはじめとする個性的なイベント、温泉や棚田、豊かな食など観光資源が豊富な十日町市。ピンポイントの観光はもちろん、最近では、農業や自然を満喫する体験型観光にも人気が集まっています。スポーツや文化事業、ボランティア活動などを含めた総合的な観光・交流事業をおして、「怒涛の人の流れ」を生む観光都市をめざしています。

■十日町雪まつり(毎年2月第3金・土・日曜日) 冬の一大イベント。世界最大級の雪像ステージで繰り広げられる音と光のファンタジー「雪上カーニバル」ほか、雪像や雪上茶席など盛りだくさん。

雪と親しみ雪を楽しむ ホワイトミュージアム とおかまち

毎年約30万人の観光客が訪れる十日町雪まつりは、冬の日本海側最大のイベントとして全国に知られています。「雪を友とし雪に親しもう」豪雪に耐えるだけでなく、雪を楽しむことから冬の生活を変えていこうという発想から生まれた十日町雪まつりは、「現代雪まつり発祥の地」としての長い歴史が育んだ魅力にあふれています。雪国十日町市には、ほかにも地域ごとに個性豊かな冬のイベントがあり、これらすべてを「ホワイトミュージアム」として楽しむことができます。

豊富な観光資源を 活用して十日町市の 魅力を発信

十日町市には、日本三大薬湯・松之山温泉をはじめとする趣ある温泉地、日本三大峡谷・清津峡や国宝・火輪型土器、山里に広がる棚田など地域資源が豊富にあります。これらを結びつながら越後田舎体験などの交流事業を展開し、雪国観光圏など広域的な連携を深めながら新たな人の流れを生み出していきます。



■十日町きものまつり(毎年5月3日) きもの貸出しや着付けを行う「きもの里をきもで歩こう」や、きもの掘り出し市、ミス十日町雪まつり撮影会などのほかに、十三詣り、稚児行列などの伝統行事も開催。

■雪原カーニバルなかさ(毎年3月第2土曜日) 会場は、なかさ清津スキー場。昼は雪国ならではの遊びやレジャーが満載。夜は静寂の中に灯る「スノーキャンドル」が幻想的です。



■十日町おまつり(毎年8月25日から3日間) 秋の収穫を祝う喜びの祭り。諏訪神社の秋季大祭が発展したもので、それぞれに趣向を凝らした明石万灯や八角御輿が祭りに華を添えます。

◎Dynamic and healthy city development (Sightseeing). Various initiatives are aiming to produce a tourist city with a large influx of people.

Tokamachi is rich with tourist attractions, including idiosyncratic events such as art festivals and snow festivals, hot springs, terraced rice-fields, local foods, and much more besides. While specific sights continue to attract visitors, there has also recently been a surge in the popularity of agriculture and nature experience-type tourism. Through a comprehensive range of tourism and exchange projects – including sporting, cultural and volunteer activities – the aim is to bring a great influx of people to Tokamachi.

◎建設充満活力生機運動的城市。〈観光〉为建成“人潮如流”的旅游城市，积极开展各种活动。

十日町市不仅有大地艺术节和冰雪节这些极个性的活动，还有温泉和梯田、品种丰富的食品等观光资源。无论是参观景点，还是最近兴起的农业或享受自然的体验型观光都极受人们喜爱。通过包括体育或文化事业、志愿者活动等在内的综合观光和交流事业，我们力争将十日町市建设成为一个“人潮如流”的旅游城市。



■大地の芸術祭 2000年に「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2000」が開催され、以後、3年に1回開催されるトリエンナーレ形式を採用。毎回多くの人出でにぎわいます。



■松之山温泉郷 長野との県境の山あいなたたずむ温泉郷。越後妻有アートトリエンナーレ2000が開催され、以後、3年に1回開催されるトリエンナーレ形式を採用。毎回多くの人出でにぎわいます。

■越後まつだひ冬の陣(毎年3月第2土・日曜日) 全国から集まった「戦士」たちが雪中鉄人レースに挑む「のっどれ! 松代城」をはじめ、雪上宝引き会、よさこい、雪上みこし、出陣歌謡祭など、元気なイベントが多数行われます。

大地と遊び人とふれあう 大地の芸術祭の里

交流人口の増加と地域活性化を目的に2000年から3年に一度開催している大地の芸術祭越後妻有アートトリエンナーレは、2010年にオンライントラボーン大賞の内閣総理大臣賞を受賞するなど、国内外で高い評価を得ています。アートにうって地域の魅力を高めるという手法が全国からも注目を集め、訪れる人に自然や里山の素晴らしさ、アートやエッセンスや地元住民との交流などの楽しさ、交流から生まれた生活文化の豊かさを体感させます。



女性ならではの発想で、温泉街に元氣と賑わいを。

中越地震の際に、温泉組合女性部会として、炊き出し部隊を結成したのが、松之山温泉女将会のはじまりです。そして、多くのひとちに松之山を知ってもらう、温泉街に元氣と賑わいを呼び込むことができないかと、松之山温泉ミスト温泉化粧水の開発、販売をはじめ、さまざまな取り組みを進めました。そして松之山温泉をアピールできるかを、みんなで仲良くワイワイながらアイデアを出し合っ、力を合わせて実現してきました。お客様から問い合わせがあったり、テレビや雑誌で取り上げられたりと、成果が出てきています。



■松之山温泉スイーツ 参加宿それぞれが趣向を凝らしたスイーツを用意しました。地元を自然食材を使い、健康と美容を意識したマクロビオティック・スイーツにも挑戦。

松之山温泉タワラフラスホルとスーパースター、松之山地産雪割草プロジェクト、にいがた朝「はんフランク」など、女性ならではの発想で、お客様楽しんで、温泉街を目指してさまざまな取り組みをしています。

豊かな人間性を育て

芸術文化の振興

いまや十日町市民の暮らしの中に溶け込んでいる大地の芸術祭や石彫シンポジウムを継続し、さらに芸術文化意識の醸成を図るとともに、不足している音楽・舞台芸術・美術作品などの鑑賞機会拡大に努めていきます。また、地域の伝統文化の後継を含めた小中学生の芸術文化活動を活性化するために、芸術文化団体の支援・育成、芸術文化施設の充実に取り組んでいます。

十日町市固有の自然や歴史、文化が育んだ文化財を地域の誇りとして保護・活用するとともに、広く内外に情報発信することで地域の活性化につなげます。国宝・火焔型土器を中核にした火焔の都計画の実現に向けては、笹山遺跡の学術発掘事業や関連施設等の整備、信濃川火焔街道連携協議会(縄文サミット)での広域観光の推進などの取り組みが始まっています。



文化とスポーツで 全国に世界に発信

国宝・火焔型土器を活用して、全国・海外への文化発信に取り組むなか、芸術文化のかおるまちづくりを一層推進します。市民が健康・体力づくりに積極的に参加できるよう、生涯スポーツの受け皿としての、またスポーツを通じた交流拠点としての施設を整備しています。

■国宝・火焔型土器：平成11年6月に「火焔型土器」をはじめとする笹山遺跡出土品が、国宝に指定されました。新潟県内初の国宝指定で、縄文土器では初の指定です。

心と体をつくる スポーツの推進

生涯スポーツ、競技スポーツ、スポーツ教育の推進と市民への啓発を図るために、豊かな自然と美しい景観を活かし、スポーツを通じた交流人口の拡大とプロチームのキャンプをはじめ様々なスポーツイベントの誘致に取り組んでいます。スポーツ活動やスポーツ交流の拠点とすべく、当間多目的グラウンド(クロアチアピッチ)、吉田クロスカントリー競技場、中里体育館など、各地域の体育施設の整備・改修を進めています。



■スキーリゾート十日町：上越国際当間スキー場(写真)・なかさと清津スキー場・まつだいたいファミリースキー場・松之山温泉スキー場 より多くの子どもたちにウインタースポーツを楽しんでもらうため、市では市内4ヶ所のスキー場で利用できるスキーリフト共通シーズン券を発行しています。



■クロアチアピッチ(当間高原リゾートベルナティオ) / 2002FIFAワールドカップでクロアチア代表選手が練習に使った国内最高水準の芝グラウンド。プロサッカーチームのキャンプ地として利用され、高い評価を得ています。



■十日町情報館 地域歴史資料の整理活用、パソコンやインターネットの体験などの機能も加えた、新しい形の図書館です。

■十日町市立里山科学館 越後松之山「森の学校」キョロロ 地域の宝を研究し、その宝を展示・教育・体験・活動・里山保全・産業活性化など、幅広く活用しています。

◎Dynamic and healthy city development (Culture and sports). Tokamachi is communicating with the whole of Japan and the world through culture and sports.

City development with artistic culture is being promoted more than ever as an initiative to convey the area's culture to the whole of Japan and overseas, using national treasures and flame-shaped earthen vessel. Facilities are also being serviced to provide lifetime sports centers and locations for cultural exchange through sports to ensure that all citizens can actively participate in healthy living.

◎建設充満活力生機運動の城市。〈文化・体育〉向日本全国向全世界伝達文化 and 体育領域の信息。

通过火焰型陶器国宝，向日本全国和海外传递文化信息的活动，进一步推进“盛开艺术文化之花的城市建设”。为了促进市民积极参加保持健康和增强体质的活动，而提供能终身参加体育活动的条件，并建设通过体育开展交流的基地设施。

■十日町市吉田クロスカントリー競技場 第64回国民体育大会冬季大会スキー競技会が開催されたSAJ公認のクロスカントリーコース。約20,000mの発着場は、芝生化やローラーコースコース整備が完了し、夏季も利用できる多目的広場になりました。

■十日町石彫シンポジウム。「アートのかおるまちづくり事業」として、1995年にスタート。国内外の作家を招き、市街地に石彫作品を制作・設置するアート事業です。



クロスカントリーで、十日町市から世界に挑戦！
小学の時から指導をさせていただきました。先生の頃から現在に至るまで、十日町小学校を中心としたスキークラブ(城丘XC)の方々に大変お世話になってます。今度は自分が結果を残すことや子どもたちにスキーの楽しさを伝えることで感謝していきたく思います。ワールドカップをまわるような選手にならなくて、U23世界選手権で入賞することが目標です。そしてソチ五輪で十日町市からのオリンピック選手になれるよう日々精進していきたく思います。



2011年2月に開催された第84回全日本学生スキー選手権大会で、クロスカントリー男子1部30キロラシカに優勝。

クロスカントリースキー、日本ナショナルチームメンバー 宮沢 大志(みやざわ たいし) 十日町市小泉出身。ジュニア時代からクロスカントリー選手として脚力を現し、現在は早稲田大学スポーツ科学部に在籍し、スキー部でソチ五輪を目指しています。

地域に活力を生む 経済政策を推進

企業誘致については、在京郷人会等の協力を得ながら、成長企業を紹介していただくなど、チャレンスの拡大に努めています。また、地元企業を支援するために、企業設置奨励条例を改正し製造業等の雇用要件を5人から3人に緩和したり、大規模企業立地促進奨励金制度を活用したりすることで、企業の設備投資を促し、より一層の雇用の創出を図っています。産官学連携による新規ビジネス創出や地元企業の技術力・販売力アップのために、県内外の大学生対抗によるビジネス

コンテスト「トオンの開催や新商品等の開発支援、販路拡大活動への助成などを展開しています。

地域ブランドの構築については、十日町ブランドメニューの開発を目指す市民の自主活動を支援しています。大地の芸術祭をきっかけに、地域の名産品を若手クリエイターの手でリデザインする「Roomies」の取り組みで生まれ変わったパッケージなどが、グッドデザイン賞をはじめとする国内外のデザイン賞を受賞し、新たなブランドの確立に成功しました。

た。今後も地場産品とアートをとのマッチングを進めるなど付加価値の創造に努めています。

さらに「全国きものサミット」や「東織の祭典・十日町フェア」「十日町産業フェスタ」などのイベントを通じて地場産品の振興支援に努めています。また、友好姉妹都市など交流都市のほか、紀州梅で知られる和歌山県田辺市との名産地連携など、他の自治体とも積極的に連携し、十日町市産品の情報を発信することで、産品の販路拡大に取り組んでいます。

十日町市のポテンシャルを 最大限活かして

企業誘致の戦略的展開、産官学連携による新規ビジネスの創出、地場産業の振興支援、商工団体の活動支援、交流都市とのネットワークの推進など、地域に活力を生む経済政策に取り組めます。農林畜産業を、十日町市で最も将来性があり、他と差別化できる産業としてとらえ、意欲ある農業者の育成と多様な集落営農システムの確立、農産物のブランド化、6次産業化を強力に推進します。

■きもの産業(十日町明石ちみ)
十日町きものは産業であり文化であり芸術でもあります。伝統を受け継ぎながら、新しい時代にマッチしたビジネス展開にもチャレンジしています。

新時代を生き抜く 活力ある 農林業のために

農業の担い手確保のため、新規就農者への支援として、就農希望者の農業実習に係る経費の一部を助成するほか、市内23の農業生産法人の就職や個別経営による自立への支援を行い、担い手の育成に取り組んでいます。

また、水田における園芸作物の栽培支援を行い、不作付け水田の拡大防止と稲作と園芸作物との複合経営を推進し、農家の所得向上を支援しています。さらに、新たに地域農産物のブランド化に取り組みほか、企業との連携を図りながら、消費拡大に向けた新商品開発、製造・販売体制の確立に取り組むことで6次産業化を推進しています。

林業については、地球環境保全の観点から環境共生基金を活用し、間伐材の利活用と森林の整備促進に取り組んでいます。



■魚沼産コシヒカリブランド価値をさらに高めるため、気候変動に左右されない高品質・良食味・安心安全な生産体制の確立を目指します。



■きものこ 十日町市はえのきと名めこの生産で県内トップの産地となりました。品質面でも、価格面でも、他の産地に対抗するため、工場の増設や設備の充実などを支援します。



■IT産業 十日町市では早くから、進出企業の誘致や市内で頑張っているやる気のある人や起業家への支援を積極的に行っています。



■電子部品製造 十日町市では豊富な水資源を活かし、精密機械、電気機械、食料品製造業など、良質の水を必要とする製造業の育成を図っています。

◎Dynamic and healthy city development (Industry). Making the most of Tokamachi City's potential...

Efforts are being made under economic policy to produce regional dynamism, such as through the strategic expansion of corporate invitations, creation of new business by links between industry, government and academia, support for promotion of local industry, implementation of networks with exchange cities, and so on. In addition, Tokamachi has the greatest prospects for agriculture, forestry and stock-raising, which are treated as industries that can be differentiated from others, and is strongly promoting the establishment of training for farmers and various community farming systems, branding of agricultural produce, and commercialization of these industries.

◎建設充滿活力生機蓬勃的城市。(产业) 最大限度发挥十日町市的潜力。

十日町市推行一系列促进地区活力的经济政策，比如通过战略性开展招商引资、产学研联合来创造新商机，促进本地产业的振兴，支援工商团体开展活动，推进建立与交流城市之间的网络等等。此外，还将农林畜牧产业作为十日町市最具将来性、可优于其他产业的一种产业，培养愿意投身农业的人才，确立多种集体务农系统，强有力地推进农产品的品牌化、6次产业化。

■商店街 各種イベントの開催や個店の魅力を高めるアドバイザー事業など、賑わい創出のための商店街改革・店舗づくりに取り組んでいます。

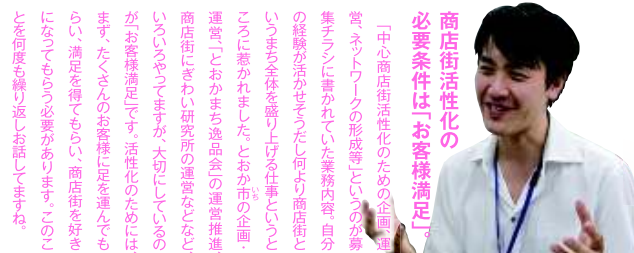
■へぎそば 十日町市は、昔からそば処としても有名です。つなぎに布海苔を使い、「へぎ」と呼ばれる美しい盛りつけで供される「へぎそば」が主流。



十日町商工会議所
中心市街地活性化コーディネーター
坂井昌宏(まっちゃん)
東京出身、外食産業、中食産業のスーパーバイザー、商品開発、販促を経て、17年間のコンサルテーション会社にその経験と知識を基に、2010年10月より十日町の商店街活性化を任ずる現職に就任しました。



とおか市は個店と商店街の活性化の一助にと坂井さんの発案でスタート。毎月10日に毎回趣向を凝らしたテーマで開催されています。



商店街活性化の 必要条件は「お客様満足」

「中心商店街活性化のための企画運営ネットワークの形成等」という募集テーマに書かれていた業務内容、自分の経験を活かせるし何より商店街という全体を盛り上げる仕事というところに惹かれましたとおか市の企画・運営「とおかまち逸品会の運営推進商店街にきむい研究所の運営など」というテーマが、大切にしたいのがお客様満足です。活性化のためには、まず、たくさんのお客様に足を運んでもらい、満足を得てもらい、商店街が好きになってもらう必要があります。このことを何度も繰り返してお話しています。

子育て支援の充実 保育サービス・ 子育て支援の充実

子育てを社会全体の課題としてとらえながら、家庭・地域・保育園・学校・企業・団体の行政が連携し、安心して子どもを生み育てられる環境を整備することが急務です。そのため、子育て支援施設や保育サービスの整備・充実はもちろん、子どもの医療費の助成やひとり親世帯の支援などを行い、子育て世代から選ばれる地域を目指しています。

明日を担う子どもたちを 育む教育環境の充実

子どもの豊かな学びと育ちの実施を目指して、4つのモデル中学校区で小中一貫教育の取組みを始めました。平成25年度には市立特別支援学校を開設し、特別支援教育の充実を図ります。また、小・中学校の施設整備や学校給食を活用した食育の推進に取り組みます。さらには、小学6年生の妻や焼体験学習や中学1年生の和装教育事業を継続するとともに地域の偉人の功績をまとめた社会科副読本を活用するなど特色ある教育を推進し、「ふるさと十日町市を愛し、自立して社会で生きる子ども」の育成を図ります。

地域で支え合う

障がい者福祉サービスを

障がいのある方の社会進出をより一層進めていくためとして、経済的自立が図れるように市が積極的に仕事を発注し、障がい者施設からの物品購入を拡大するなどの支援策を行っています。やがては、地域全体で支え合いができるまちに、そんな人やさしまちづくりを官民協力し合って進めていきます。

高齢者福祉サービスと

施設の充実・整備を推進

お年寄りに元気で長生きをしていただくために、健康増進のためのプログラムを拡充し、一人暮らしのお年寄りや高齢者のみの世帯には、除雪や生活交通の確保など、不安のない生活を送れるようにサポート体制の充実を図っています。また、介護が必要な方のために、介護福祉施設の整備を図るとともに、現在ある遊休施設等の活用も視野に、地域に密着した高齢者住宅やグループホームの整備を推進します。



人と人の絆の大切さを 心に刻んで

子育て世代への支援、高齢者への支援、障がいのある方への支援、教育環境の整備を通じて、次世代の担い手を育み、高齢者を敬い、弱者を守る「人にやさしいまちづくり」に取り組んでいます。

■中里なかよし保育園の元気いっぱいの子供たち



■学校給食 地産地消の理解・食育の一環として、給食の食材を提供している生産者の皆さんを招待して子どもたちと一緒に食べる機会を設けています。



■和装教育 和装教育は、市内の全ての中学校で行われています。十日町織物工業協同組合の職員の皆さんから、きもの歴史や着付けなどを学びます。



■きものサークル「わかむらさき」 きものまのちの小学校ならではのサークルで、きもの名称、種類、着方、帯の結び方など、着物の歴史・文化を学びます。

◎City development that treats people gently. Initiatives are cementing the importance of relationships between people.

Efforts are being made to ensure that city development in Tokamachi treats people gently, raising the bearers of future generations, respecting old people and protecting the weak through support for the child-raising generation, provision of nursing services, support for the elderly, provision of care worker facilities, support for people who have difficulties, maintenance of the educational environment, and implementation of all kinds of education projects.

◎建設以人本的城市。 将人与人之间纽带的重要性铭记于心。

支援育児年齢層の家庭、完善保育サービス、扶助老年人、完善護理福利施設、关爱殘障人士、完善教育環境、推進各種教育事業、通过这些來培养肩负下一代重任的人才、开展尊敬老人、愛护弱者的“以人本的城市建設”。

■ワークセンターなごみ 就労支援に特化した事業所で、一般就労への移行を支援しています。豆菓子、クッキー、かりんとう、木工品、刺し子などを作って販売しています。



■市長敬老の日100歳者訪問 毎年、市長が敬老の日に、100歳になった市民のお宅に表敬訪問。記念品を届けてお祝いの言葉をかけます。



■特別養護老人ホームよした / 特別養護老人ホームについては、待機者の解消に向けて、吉田地区、松代地区、川治地区をはじめ増床整備を進めています。



「子ども教室」を通じて、 子どもたちの心の成長を期待。

放課後保護者の勤めなどの関係で家に帰っても面倒を見られる大人がいな子どもたちに、安心して遊ばせたり、勉強しただけの時間と場所を作っておたかたたいうのが一番の目的です。子ども教室の内容は、その日の宿題や読書をはじめ、工作・手遊び・体育館でのスポーツなど、子どもたちの自主性を尊重し、子どもたちのびびり自由を過ごせるよう気を配っています。また、クラスメイトや先生、両親とはちがう、異年齢や異性、大人との交流が、子どもたちの心の成長につながることを期待しています。



■子ども教室 / いつものようにまず宿題を終らせて、スタッフと一緒に夢中になって七夕飾りを作る子どもたち。小学1～3年生が中心に利用しています。

NPO法人ほほえみ子育て支援事業班 2010年4月の活動開始。現在15人が在籍しています。放課後、勤めなど保護者がいない児童に対して、安全に過ごす居場所を提供し、児童の社会的な成長と地域の教育力の向上を目指しています。

地域中核病院の 早期改築と 医療体制の充実を

県立十日町病院の早期改築と機能強化による中核病院化を推進し、周辺の環境整備を図ります。また、医療機関や医師会などの協力を得ながら、休日や夜間における救急医療体制の充実に努めています。

地域活性化につながる 地域高規格道路の 建設促進

八箇峠トンネルの掘削工事が、2013年春の貫通を目標に進んでいます。市では、国・県と十日町インターまでの整備促進の協議を進めるとともに、アケセ道路と高山水沢線の整備やインターナジ周辺土地利用計画の策定に取り組み、上越沼沼地域振興快速

中山間地集落の 暮らしを 守っていくために

十日町市で先進的に取り組み、全国でも注目を集めている「地域おこし協力隊」をさらに増員し、外部の意欲ある人材と地域の潜在的な力を結びつけながら、高齢化集落の総合支援を進めます。

自然・人・地域が 共生できる環境を 目指して

循環型社会を推進する取り組みとして、排出事業者あるいはみ取集運搬業者が生ごみ処理機を設置して、生ごみ減量に取り組むための補助制度を創設します。2010年にスタートしたエコポイント事業は、環境にやさしいと認められる活動にポイントを付与するもので、市民意識の醸成を目的に実施しています。また、バイオマス資源や、地熱、温泉熱、太陽光など、クリーンで安全な自然エネルギーの導入を推進しています。

City development with safety and peace of mind. Various initiatives are under way to keep everyone smiling.

An environment in which citizens can live safely and comfortably is being built by working towards a recycling society while protecting Tokamachi City's treasured rich natural environment, overcoming the problems associated with areas of heavy snowfall, infrastructure maintenance, reinforcement of disaster prevention systems, and revitalization of semi-mountainous areas.

建設安全放心的城市。 为了大家都能幸福快乐地生活。

在保护十日町市宝贵而丰富的自然环境的同时，为了实现循环型社会，克服了暴雪地带特有的课题，并正在通过健全社会基础，强化防灾体制，促进山间地区的活力，创造市民能够放心舒适生活的生活环境。

みんなの笑顔を支えていくために

十日町市の宝物である豊かな自然環境を保全しながら循環型社会を目指し、また、豪雪地帯特有の課題を克服し、社会基盤整備を推進することで、市民が安心して快適に暮らせる生活環境づくりに取り組んでいます。

■十日町市の冬の暮らしを守る24時間体制の道路除雪 / 最大積雪3.77メートルの「56豪雪」を機に、地元の建設会社による企業体組織が編成されて、除雪体制が整えられました。



■ペレットストーブ燃料 十日町市では、間伐材などの未利用資源をエネルギーとして活用するペレットストーブの普及を促進することで、地球温暖化防止と資源循環型社会の構築を目指しています。



■実証試験中の地熱発電(松之山温泉) 環境省の実証実験として、温泉発電の普及のために、温泉や電力系統に影響を及ぼさない温泉発電システムの実用機の開発を行っています。100℃以下の既存温泉による実験は、全国初となる試みです。

■上越沼沼地域振興快速道路・新八箇トンネル工事風景 2013年春費通予定。上沼道の一部、一般国道253号八箇峠道路は、十日町地域と南沼沼地域を相互に連絡し地域の活性化を促進することを目的としています。



■女性消防団 十日町市消防団には、約30人の女性消防団員が所属。女性団員は火災予防・応急手当・地域交流・消防団活動の普及啓発を主に期待されています。

■災害時医療訓練 災害で多数の傷病者が発生したと想定し、病院等関係機関と連携を取りながら、傷病者のトリアージや災害派遣医療チームによる病院後方支援訓練などが行われます。



要請があればどこへでも、災害救助犬がかけつけます。地震などで建物が崩壊した時に生埋めになっている人を捜し、吠えて場所を教えるのが、災害救助犬です。要請があれば、山などを避難し行方不明になった人や徘徊老人なども捜します。阪神大震災のとき災害救助犬の活動を知り、犬の訓練士や消防隊員、犬のオーナーが集まり、自分たちの犬も社会貢献に生かそうと、災害救助犬十日町を発足させました。警察や消防の要請を受けての出動は年に10~20件です。可能ならどこへでも行きます。



■訓練風景 認定試験では山野での行方不明者捜索作業等に基づいて審査します。それに合わせて、基本服従態度、ハンゴやトンネルなどの障害物通過作業などの訓練を行います。

災害救助犬十日町隊長
NPO法人災害救助犬ネットワーク会員
藤田真治(じげん・あゆみさん)夫妻
十日町市宮中で藤田愛玩(あまな)犬訓練所(FUTURE DOG SCHOOL)を経営するかわら、ボランティアで災害救助犬の育成と活動を行っています。



市民本位の組織を 目指して大胆な 市民所改革の実行

市民との対話を欠かさない、市民の求めに素早く的確に対応し、市民サービスが一段と向上するよう、市役所をより市民本位の組織へと改革します。また、職員数の適正化を進める一方で、多様化、高度化する行政ニーズや課題に応じため、高い専門性とともに、行動力と成果志向が職

員一人ひとりに備わるよう組織強化を進めています。このほか、若手職員による職員知恵出し会議や職員を対象とした自己啓発研修補助制度、事務支援員の新規採用など、積極的に若い英知の結果を図っています。

さらに、電子市役所の推進のため、証明

書自動交付機の利用促進を図るとともに、各支所には半自動で証明書を交付する窓口交付システムを導入、上下水道料金のコンビニ納付に続いて、2011年には新たに個人市民税など市税のコンビニ納付も開始しました。

すべては 市民のために

「新しい公共」を作り出すという理念のもとに、市民や地域、企業や各種団体、行政などの主体が、緊密なネットワークと信頼関係を築き一緒にまちづくりに取り組む「協働のまちづくり」を進めています。

■地域おもてなし事業 大地の芸術祭をはじめイベントや観光などで十日町に訪れる人々に対する市民の自主的なおもてなしを、市が支援することで来訪者へのおもてなしのレベル向上を目指すというものです。

最大の効果と 効率を目指し 行財政改革を推進

事務・事業の効果を高め、電子市役所の推進で二層の効率化を進めながら、人件費などの行政コストを削減します。そして、限られた費用であっても職員の創意工夫と知恵の出し合いにより、最大の効果を生み出し、職員5000人体制に対応できる組織に改革します。また、市債の繰り上げ償還や借り換え、余裕資金の有効運用など、効果的な運用に取り組み、2011年には新たな行政創造プラン(行革大綱)をスタートさせ、さらなる財政の健全化に努めています。

手を取り合い 支え合う 「協働のまちづくり」

市民や地域・企業・NPO・行政など、多様な主体によって支えられる公共サービスの仕組み「新しい公共」を創る取り組みが始まっています。担い手の一つである地域自治組織については、現行の地域協議会を整理し、地域ごとに組織化されている振興会などを地域自治の担い手として、活動に必要な財源も準備しながら、2012年からのスタートに備えています。これら地縁型の組織のほか、NPOや市民活動団体なども連携して、「新しい公共モデル事業」などを進めています。また、行政も含めたそれぞれの役割分担などを体系化した自治基本条例の制定についても検討しています。

◎Realization of city development. New initiatives are commencing entirely for the good of citizens.

Progress is being made with cooperative city development whereby close networks and mutual trust are built up between citizens, the locality, businesses and all kinds of organizations and administrations, etc. based on the concept of producing new public services.

◎为了实现城市建设的目标，一切为了市民，新活动已经开始。
根据创造“新公共”的理念，推进市民和地区、企业和团体、行政等主体建立紧密的联系和信任关系，一起参加到“共同参与城市建设”的活动当中来。

■ネージュ原付ナンバー 市の魅力を発信するツールとして、全国的にも有名な「十日町雪まつり」のキャラクター「ネージュ」がデザインされたナンバープレートを交付しています。

人と人との絆を紡いで 市民活動を活性化したい。

合併後の十日町市内に数多くある市民活動団体の横つながりを強めることで、ネットワークを広げ協働のまちづくりを実現できないかとひととサポを立ち上げました。行政と市民活動団体、市民活動団体と市民、市民活動団体同士、つまりひとと人との絆を紡いでいくことで市民活動を活性化したいという思いが発足しました。当団体は恒例となつた、とおかまる市民活動見本市やめぐりかめかの企画・運営を通じて、各種市民活動団体の活動を市民に広くPRし、ひととサポの会員を増やしたいと考えています。



■職員知恵出し会議・発表風景 重要度、緊急度、優先度の高い政策課題を、若手職員が集中的に検討し、斬新かつ柔軟な発想を市政に反映させ、予算の効果的、効率的な執行及び組織の活性化につなげていくことを目指しています。



■証明書自動交付機 本庁舎に、簡単な操作で住民票などの証明書を受け取ることができる「自動交付機」を設置しています。休日も利用でき、窓口よりも手数料が安くなります。



■リユース食器 環境・福祉・まちづくりのNPOなかまたちには、イベントやお祭りごみが野放しにされている現状を何とか改善したいと、2006年から「リユース食器」貸し出しに取り組みんでいます。



■スノーボランティア夢雪隊 約60人が所属。4隊に分かれて、高齢者世帯を中心に屋根の雪掘りを無償で行っています。

市民活動ネットワーク ひととサポ代表

十日町市野在住「フーゴボランティア夢雪隊」代表 大地の芸術祭のサポートボランティアネットワークの代表を務めるなど、積極的にまちづくりに関わっています。

◎なお、2011年7月には「ひととサポ」の有志が、東日本大震災と新潟・長野県地震の被災者を励ましたいと、十日町に伝わる「だんごおもり」を作って贈りました。



■十日町市の市章

十日町市の「十」の字を温かみのある「人」のイメージにデザイン。「橙」は明るい未来を照らす太陽、「緑」は豊かな恵みをもたらす母なる大地、「水色」は大地を潤す大河信濃川。キャンパスの「白」は雪と未来です。豊かな自然の中で、新たな発展を目指す十日町市民の夢と希望を表現しています。



■市の木／ブナ



■市の花／ユリ

十日町市の プロファイル

市の概要

十日町市は、新潟県の南部にあり、周囲は山に囲まれ、冬には2mから3mの積雪がある日本有数の豪雪地帯です。市内に流れる信濃川と浪海川水系沿いに水田が広がり稲作が盛んです。十日町市は、魚沼産コシヒカリの産地としても名高く、里山に広がる棚田は、日本の原風景を思い起こさせます。十日町地域は織物や着物の日本有数の産地で、市の西部には宿場町だった松代や温泉地として有名な松之山があります。また、笹山遺跡から発掘された火焔型土器は、縄文時代の遺物として初めて、新潟県としても初めての国宝に指定されました。

都市宣言

●スポーツ健康都市宣言 平成18年10月9日

「宣言」「楽しむスポーツ、つなぐ健康」 私たち十日町市民は、そして健康で文化的な生活が営まれることを祈念し、スポーツを通して体力づくりと健康増進に励み、友愛と協調の輪を広げるとともに、その力を結集して楽しむスポーツ、つなぐ健康のまち十日町市を築くため新しい市の発足にあたり、「ここに」スポーツ健康都市を宣言する。

●交通安全都市宣言 平成19年9月22日

「宣言」交通事故のない安全で住みよいまちの実現は、市民共通の願いです。私たち十日町市民は、交通ルールを守り、交通事故のない安全で安心して生き生きと暮らせるまちの実現に努力することを決意し、ここに十日町市を交通安全都市とすることを宣言します。

●核兵器廃絶平和都市宣言 平成19年12月1日

「宣言」雪・自然・農が織りなす温もりと躍動のまち、十日町市に住むわたしたちは、人と文化と郷土を愛し、平和で心豊かな、明るいまちをつくりたいと念願しています。わたしたちのまちは、長年にわたり、被爆者の苦しみを思い、市民活動をおとし、長崎と手を携えてきました。このきずなを大きく育て、平和を愛する世界の一人と手をつなぎ、核兵器のない社会を次の世代に継承することがわたしたちの責務であります。わたしたち十日町市民は、日本国憲法の平和を求める崇高な理念に基づき、すべての国がすみやかに核兵器を廃絶し、平和な国際社会を築くことを強く求めます。ここに十日町市は「核兵器廃絶平和都市」であることを宣言します。



■市議会議長／小堺清司 ■副議長／庭野政義



■副市長／村山 潤 ■十日町市長／関口芳史 ■教育長／蔵品泰治

姉妹都市 コモ市

「絹で結ばれた2つの都市
温かい交流の絆を次の世代へ」

イタリア北部、商業の中心ミラノからほど近くにあるコモ市は、ヨーロッパ屈指の伝統あるリゾート地です。また、十日町市と同じく絹製品の産地としても名高く、それが縁で1975年2月27日に姉妹都市関係を締結しました。1991年には民間の十日町・コモ姉妹都市交流協会が設立され、コモ市の文化交流団体「アマリア・コマスカ協会」との文化交流もスタートしました。締結以来続く5周年ごとの記念行事や使節団相互訪問、そして現在は、青少年交換留学事業、コモ市フォトコンテストへの出品、両市の小学校間の交流などが毎年行われています。また各種のフェアやコンサート開催、ビデオクルや芸術家による作品制作、文化・世界平和に関わる多くの人材の交流やさまざまな催しが活発に行われてきました。2010年には姉妹都市提携35周年を迎え、交流は次の世代へと着実に受け継がれています。



2010年、姉妹都市提携35周年を記念した公式訪問。40人の親善使節団がコモ市を訪問しました。



2011年5月、被災した十日町市や東北地方を慰問するためコモ市よりきたハーブ奏者のファビウス・コンステールさん(37歳)。震災で大きな被害を受けた奴奈川小学校での演奏(奴奈川小と浦田小の児童17人の前で)。

国際交流 in 十日町市

サッカー交流

クロアチア

世界水準の練習ピッチが育んだ
クロアチアとのスポーツ交流

十日町市とクロアチアの交流は、2002 FIFAワールドカップで、同国代表チームがキャンプを行ったことをきっかけに、これまで脈々と続いてきました。代表チームが練習に使った国内最高水準の芝グラウンドは、クロアチア代表選手の名がつけられ、毎年秋にクロアチアカップ・サッカー・フェスティバルを開催しています。2010年10月には「クラブ・ウズ」ジャパン・クロアチア・フレンドシップ・ハウスを着工しました。長年友好を培ってきたドラゴ・シュタンク駐日クロアチア大使のご厚意により、基本デザインを同国の著名な建築家「P&Rアーキテクト」のウイニコ・ベネディチ氏とクレシメル・ロギナ氏から無償提供いただきました。「スポーツ交流」や「国際交流の拠点」として、プロチームや子どもたちはもちろん、多くの市民から愛され、素晴らしい交流の場となることを期待されています。



2010年3月「ジャパン・クロアチア・フレンドシップ・ハウス」プロジェクト発足の調印式。2012年春に竣工予定。



「クロアチアカップ・サッカー・フェスティバル」の授賞式には、駐日クロアチア大使に毎年お越しいただいています。





◎発行／平成23年9月 新潟県十日町市

◎編集／企画政策課広報広聴係

〒948-8501 新潟県十日町市千歳町3-3 tel.025-757-3112 fax.025-752-4635

電子メール info@city.tokamachi.lg.jp ホームページ <http://www.city.tokamachi.lg.jp/>

◎制作／サンタ・クリエイトシステム